

2022年10月8-9日 奥秩父 滝川/古礼沢の上流部

メンバー：L石原、野中、結城（会員外）

古礼沢は下流の滝川本谷からでは泳ぎ必須のルートですが、雁峠側から古礼沢出会上部へアプローチすれば歩きの癒やし系ルートとして楽しめます。

雁峠から燕山北西尾根へのトラバースは目印を最初だけで読図力が必要でした。幕営地は北西尾根 1780m くらいから北の支尾根で下り、古礼沢出会のゴルジュより上、1350m 付近としました。ロープフ用で下れますが最後の 100m は足元ぐずぐずで少し悪いです。

薪は湿りがちでしたが、朝晩焚き火で暖を取れたのは何より。

翌日は7時過ぎのスタート、1箇所だけルートミスから懸垂下降がありましたが、基本的には歩きのルート。きれいなナメと苔の奥秩父らしい溪相を楽しみ 4 時間弱で稜線へ。そこから一般道を 2 本くらいで下山でした。

2 日間の行動時間も少なめですので、頑張れば日帰りも可能です。ただ、それにしても沢が短すぎるのでここはシーズン始めや沢納めで焚き火宴会を楽しむルートかなと個人的には思います。

【天候/コースタイム】

10/8 晴→曇

10:10/作場平登山口～11:50/雁峠～13:40/燕山北西尾根 1780m 付近～14:40/古礼沢右岸 1350m 付近（幕営）

10/9 曇

7:00/幕営地から入溪～10:45/古礼山北側鞍部～12:20/笠取小屋～13:10/作場平登山口

古礼沢の遡行

